

No.
92

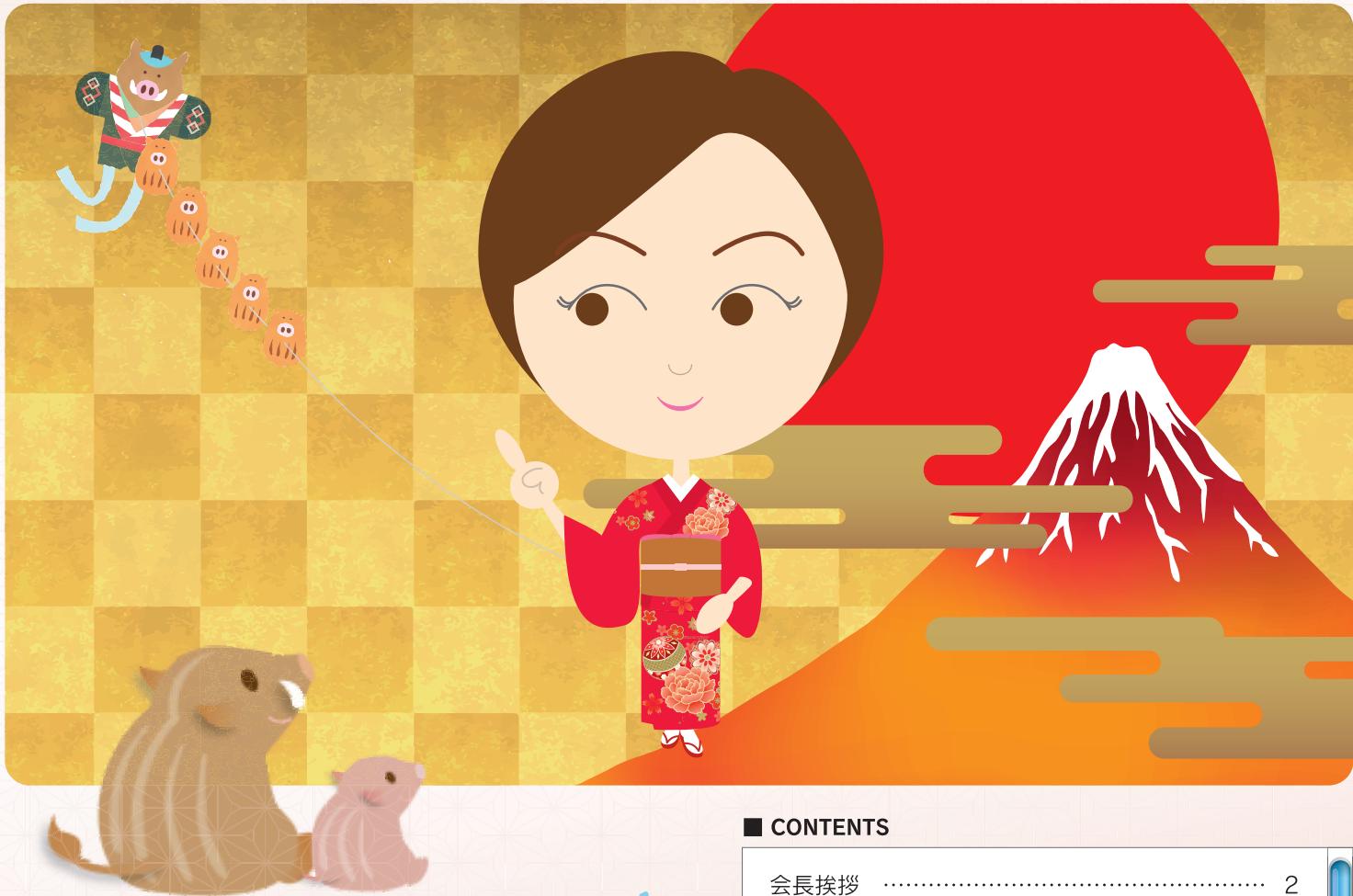
2019.1.1

協会ニュース

和

文字 小 標準 大 | 検索 ×

| ホーム | アクセス | お問い合わせ | プライバシーポリシー | サイトマップ |



(スマートフォン対応)

Web 受講

協会ニュース「和」

日本看護協会

日本看護協会出版会

平成
31
年

年頭挨拶



会長
多田 敏子

皆様、あけましておめでとうございます。新しい年を、お健やかにお迎えのことと存じます。日頃は、公益社団法人徳島県看護協会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、西日本豪雨災害および北海道胆振東部地震の発生により、広範囲に深刻な被害があったことが報道されました。

徳島県看護協会は、日本看護協会から依頼を受け、広島に災害支援ナースを、延べ4名派遣しました。8月11日から17日という丁度お盆の時期でしたが、迅速に勤務調整いただき、派遣者を確保することができました。3泊4日、自己完結型で、暑い時期にご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

また、事業の中で特記すべきことは、地域密着型エリアマネージャーを、県南及び県西部に置き、地域包括ケアシステム構築が急がれる徳島県で、看護職の果たすべき役割の見直しや普及にご尽力いただきました。さらに、少子化の進む中、看護職人材確保の一環として、県内の看護大学3校の学生にご参加いただき、住民の生活支援の視点から、地域理解を深めていただきました。へき地での医療は住民の生活を護る不可欠の社会資源です。看護職の配置が円滑に進められるために皆様のご理解やご支援をいただけるよう、看護協会も力を注いでいきたいと考えています。

さて、徳島県看護協会の会員数は、4,620人となり、昨年に比べて微増しております。看護職能団体である看護協会への入会は、専門職である看護職が、自律的に判断して行うものであると認識しています。情報を共有し、生涯にわたり自己研鑽に努め、看護職のやりがいや誇りを持っていきましょう。是非入会していただきますよう、お願いいたします。

今年も、引き続き、多くの皆様にご協力頂き、事業を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。そして、平和で心穏やかな年になりますよう、ご祈念申し上げます。

知事要望

公益社団法人
徳島県看護協会
H30.11.16(金)

- 1 地域包括ケアシステムにおける看護提供体制の推進
- 2 新未来社会のニーズに応え得る人材育成・確保・定着
- 3 看護職の労働環境の整備の推進



受章
おめでとうございます

平成30年度
高齢者福祉功労者等に
対する県知事表彰

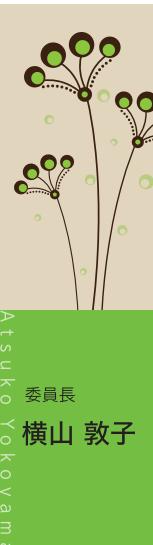


片岡 雅美 様

活動報告

保健師職能委員会

地域包括ケアシステム構築に対応した保健師のキャリア形成



委員長
横山 敦子

地域包括ケアは、セルフケア能力を導く予防活動、暮らしやすさや生きやすさに繋がる行動を促す保健活動、その活動を互助の力で守り、支え合える地域（職場）づくりなどを通して、健康寿命の延伸を導くものです。

そのためには、徳島県内の看護職の連携をますます強化するとともに、ヘルスプロモーションの理念に基づいた保健師活動を今まで以上に推進しなければなりません。

そこで、今年度は、保健師の専門性を高めるため研究発表をテーマとした「保健師スキルアップ研修会」を開催するとともに、「支部・3職能合同研修会」及び「保健師・助産師合同研修会」の開催による看護職間の連携にも取り組んでまいりました。

また、保健師職能集会として「若手保健師ランチミーティング2018」「保健師ランチミーティング2018」も開催し、県内保健師の顔の見える関係づくりを進めています。

是非、皆様にご参加いただき、多くの皆様とともに保健師のキャリア形成の推進を図っていきたいと考えています。

活動報告

助産師職能委員会

安全・安心な出産環境の体制整備を目指して



委員長
上田 美香

助産師職能委員会の活動目標のひとつに、安全・安心な出産環境の体制整備の推進があります。今年度は、その中の「助産師出向等支援導入事業の推進」に取り組んでいます。

助産師出向は、地域における助産師の就業先の偏在は正、助産師実践能力の強化支援を図ることが主な目的です。徳島県においても周産期医療の課題や、助産師の偏在状況があることから、助産師出向システムの活用が必要です。次年度の事業展開に向け準備を行っており、2019年1月26日に開催される助産師出向研修会では出向についての知識を深めていきます。

また、児童虐待は年々増加しており、妊産婦のうつ病も、妊娠や出産に関連した身体疾患より頻度が高くなっていることが徐々に明らかになっています。今後、妊産婦のメンタルヘルスケアがさらに重要になり、日々妊産褥婦と関わる助産師の「ウイメンズヘルスケア能力」の発揮がこれまでにも増して求められてきます。2019年1月19日に、保健師・助産師職能合同研修会「妊産婦メンタルヘルスケア研修会」を行います。メンタルヘルスケアについて知識を共有するとともに、保健師さんとの顔の見える関係性の構築を目指します。

皆様のご参加をお待ちしています。

活動報告

看護師職能委員会

看護専門職としての役割発揮に向けて



委員長
折村 秀美

日本看護協会看護師職能委員会・病院領域では、医療提供体制の変化に病院領域の看護職が対応するため、在宅療養支援や看護師のキャリア等をテーマに活動を進めています。

診療報酬における加算や新設などにより、病棟内では多様な職種が活動するようになり、看護師と他職種の連携や協働のあり方、連携における看護師の専門性の発揮に関して検討を進めています。また、地域包括ケアシステム構築に向けた病院の看護管理者と行政保健師の連携強化に向けた課題についても意見交換をしています。

徳島県看護協会看護師職能委員会では看護職の専門性の強化を図るために、看護現場で抱える課題に対して課題発見・意見集約を行っています。看護師が働く職場環境において、あらゆるハラスマントは精神・身体的ストレスになっている事は明確であり、その対策を学ぶ機会を設け、9月22日に『明日から活かせるクレーム対策の基本』と題して研修会を開催いたしました。約120名の参加者があり、実際に活かせる研修になったと好評を頂きました。

今後も皆さま方のご協力を得ながら、看護職があらゆる場面で活用できるテーマを検討し、役立つ情報を看護師職能委員会から発信していきたいと思います。

支部活動報告

徳島支部Ⅰ

支部長 日野出裕美

徳島支部Ⅱ

支部長 橋本幸子

徳島支部Ⅲ

支部長 松崎和代

徳島支部Ⅰ（鳴門・板野地区）では、地域住民の健康増進、福祉の向上を図るために支部Ⅱと協同で、毎月第2・4土曜日に県立図書館において常設の「まちの保健室」を開催しています。

また、地域看護サービスとして、今年度は10月21日に鳴門ウチノ海総合公園で開催された「子どものまちフェスティバル」と10月28日に鳴門市ドイツ館で開催された「ドイチュエス・フェストinなると」のイベントに参加しました。『1日まちの保健室』や『ナースに変身コーナー』を設け、地域住民の方々や子ども達とのふれあいを通して、イベント事業の活動を行っています。

支部施設交流会においては参加施設も少しずつ増加し、看護協会の活動や研修等の情報提供、よりよい支部活動に向けての話し合い、施設間での情報交換等、顔の見える関係づくりを通して地域連携強化の場ともなっています。

看護の出前授業では、依頼を受けて看護職が地域の小中学校に出向き、『いのちの大切さ』や『看護職の仕事』などのテーマで授業を行っています。

今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



徳島支部Ⅱは、徳島市、名西郡、佐那河内村を担当し、地域住民の健康増進と福祉の向上を図るために活動をおこなっています。

常設「まちの保健室」を支部Ⅰと協働し、毎月第2・4土曜日に徳島県立図書館において開催しています。子どもからお年寄りまで、性別・世代を問わず、出産・子育て・病気・心の健康・生活習慣病・介護などの健康に関する気になることや心配事など、気軽に立ち寄って相談できる場所です。（平成31年度から、開催場所がスーパーセンターマルナカに変更になります。）

今年度は、イベント事業として、「一日まちの保健室」を9月～12月・毎月1回、スーパーセンターマルナカにて実施しました（平成31年1月～3月実施

予定）。脳年齢・血管年齢測定には、たくさんの皆様に興味を示していただき、待ち時間が必要なほどでした。また、10月は地域の老人クラブの集会でバルーンアート出前講座を実施し、風船で花や犬を作ったり、血圧や握力測定をおこないました。イベントを通じて地域住民の方々とふれ合うことにより、健康への関心をもっていただける機会になればと考えています。

出前授業は、中学・高校生を対象に看護師・助産師が学校に出向き、「命の大切さ」「看護師の仕事について」などの講義を



おこなっています。9月には徳島市立高等学校において「看護師・助産師の仕事について」の講義、実技体験（聴診、妊婦体験）をおこない、『看護師を目指す上で大切なものがよく分かった』との感想をいただきました。

今後とも地域の皆様の身近に看護師がいることで、安心でき、健康に暮らすことができる地域づくりに努めますので、活動にご理解、ご協力をお願い致します。

日頃より、支部活動にご理解ご支援をいただき、ありがとうございます。

徳島支部Ⅲは、小松島市、勝浦郡の地域を担当しています。

平成30年度の主な活動としては、地域サービス（イベント事業）をショッピングセンター・ルピアで年2回開催しております。5月には①血圧測定②体脂肪測定③骨密度測定による健康チェックと共に、看護協会が新しく購入した機器を使用して脳年齢測定や血管年齢測定を実施し、参加者にとても好評でした。11月にも①血圧測定②体脂肪

測定による健康チェックと健康相談を開催しています。

また、常設「一日まちの保健室」を阿南・美波支部と協力して、第2・4土曜日にショッピングプラザ「アピカ」で開催しております。看護職の専門性を活かした健康相談を実施し、地域の方々の健康への関心を高めると共に、看護職を身近に感じ、活動の理解を深

めていただく良い機会となっています。

年3回の施設交流会では、顔の見える関係を大切にし、支部施設間の看護師の交流・情報交換を行っています。今後も施設間の交流を図り、地域住民の方々の健康保持・増進をはかるため、地域に密着した事業を推進していくたいと考えていますので、よろしくお願ひ致します。



阿南・美波支部

支部長 千田 幸代

- 日頃より支部活動にご理解、ご支援いただきありがとうございます。

阿南・美波支部は阿南市、海部郡、那賀郡の地域を担当し、年間の事業計画に沿って地域に密着した活動を行っています。

支部活動の一つである“南部まちの保健室”を、徳島支部Ⅲと分担して阿南アピカで開催しています。血圧測定・体脂肪測定に加え、肺チッカによる肺年齢測定もできるようになりました。これは肺年齢だけでなく慢性閉塞性肺疾患のチェックもできます。健康や介護、育児などの相談にも対応しています。

また、阿南・美波支部の施設の方と

の交流を深めるために施設交流会を年3回開催しています。1回目は7月18日に開催し、参加された施設の方との関わりを通じいろいろな情報を共有することができました。第2回施設交流会も11月に開催を予定しています。

イベント事業として、10月21日に“あなん健康まつり”で“まちの保健室”を開催しました。当日は142名の方に利用して頂き、認知症や血圧などの相談をお受けいたしました。また、平成31年1月26日に“阿南市生涯学習推進大会”で“まちの保健室”を開催する予定にしています。

今後も地域に根差した活動を展開していきたいと考えています。どうぞご

協力の程、よろしくお願ひいたします。



- 日頃より、吉野川支部の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。吉野川支部は吉野川市と阿波市を担当しています。本年も支部活動を通して、地域住民の健康増進・福祉の向上に努めるために事業計画に沿って活動を行っています。

施設交流会は3回／年開催し、施設間の情報交換や交流を深めています。常設「まちの保健室」は本年4月より貞光ゆうゆう館へ移転して健康相談や健康チェックを行って



います。

イベントとしては、11月4日に阿波市「アエルワ」で「1日まちの保健室」を開催し、健康、栄養、糖尿病、訪問看護等の相談コーナーを設置し、体脂肪、骨密度、血圧等の測定を行いました。また、11月24日には吉野川医療センターで高校生を対象に「ちいさ

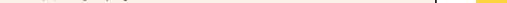
いいのち、あなたのいのち」のテーマで思春期講座を開催の予定です。

出前授業は地域の小学校や中学校、高校で「手

洗い」「命の大切さ」「性教育」などの授業を学校の依頼に基づいて行っています。

そしてこれらの行事の中で看護職への道の説明や進路の相談にも乗っています。

今後も皆様のご協力をよろしくお願い致します。



- 日頃より支部活動にご理解、ご支援いただきありがとうございます。美馬・三好支部は、住民の超高齢化や住民減少が進む中で、施設交流会を年3回開催し、代表者で情報交換を行ながら交流を深め、支部活動を通して地域住民の健康増進や福祉の向上を図るための事業を計画しています。

常設「まちの保健室」は、今年度場所を貞光道の駅「ゆうゆう館」へ移し、月2回健康チェックや、健康相談を実施しています。来年度からは、人の出入りの多い午前中の開催となる予定ですので、

これまで以上に住民の方に利用していただけるのではないかと思っています。他に各地域でのイベントにも積極的に参加しています。また今年度からの試みとして、「出前まちの保健室」と称し

た活動を開始しています。そして未来を担っていく子供達に向けては、中学生や小学生を対象に、いのちの大切さや親子の絆などについての「いのちの授業」を行い、高校生には

「ふれあい看護体験」や「学校祭」を通して、看護の魅力を伝える協力を行っています。

今後も専門職として、地域住民の方々に健康で安心して過ごしてもらうことができるよう、地域に根ざした活動を展開してまいりたいと思っておりますので、皆様の御協力よろしくお願ひいたします。



美馬・三好支部

支部長 長尾 春美

キラキラ 新人さん



対象者から学ぶ

保健福祉環境部
(三好)
保健師 **木下 沙姫**

保健師になり、保健所で精神保健を担当して3年目になりました。まだまだ対象者との関わり方に悩むことはあります、先輩保健師に助けていただきながらケースワークを通して机上ではわからない、人との関わり方など学ぶことはたくさんあります。その中で、対象者から元気づけられることも多々あり、保健師として働くことの楽しさを感じています。

今後も、様々な分野で経験を重ね、住民が安心して暮らせる地域づくりのお手伝いができるように成長していくたいと思っています。

助産師としての日々

徳島赤十字病院
助産師 **工藤 結衣**

私は、臨床研修看護師として救急部門、一般病棟等の様々な部署でのローテーション研修を終えてから、助産師として勤務しています。ローテーション研修を受けたことで、助産ケアだけでなく、看護実践に必要な知識・技術について幅広く学ぶことができ、妊娠褥婦が有する疾患に研修での経験を活かすことができると考えています。まだまだ半人前ですが、患者様の気持ちに寄り添える助産師になれるように今後も日々精進していきたいです。

新人助産師
頑張っています!

吉野川医療センター
助産師 **富林 真歩**

助産師として就職させていただき7ヵ月が経ちました。看護技術や業務内容を覚えるのに必死で余裕がなく、助産師として妊娠褥婦さんと上手くかかわることができているのかと悩む事もありますが、笑顔を忘れず、日々先輩に指導や助言を頂きながら頑張っています。

優しくて信頼のおける先輩方や仲の良い同期に恵まれ、充実した日々を送っています。産婦さんや家族の方にこの病院を選んでよかったと、笑顔で退院して頂けるよう、頑張ります。

夢だった助産師としての第一歩

徳島市民病院
助産師 **藤原 和佳奈**

私は現在、助産師として産婦人科病棟で勤務しています。婦人科の業務を行なながら、妊娠褥婦、新生児のケアをしています。最近では、分娩介助も始まりさらに助産師として意識するようになりました。お産は、母子のいのちを預かっているので責任が大きいですが、生まれる瞬間に立ち会える喜びは言葉で言い表せないほどです。夢であった職に就ける喜びを感じながら、出会えてよかったですと思ってもらえるような助産師を目指して、日々学んでいきたいです。

患者第一を念頭に

徳島大学病院
手術部
看護師 **板東 映見**

憧っていた手術室の看護師になり、半年が経ちました。入職当初は何も分からず、戸惑うことも多くありました。が、少しずつ一人で担当できる業務が増え、自分自身の成長を感じています。患者さんの負担を少しでも減らし、安全な手術が提供できるようにと円滑な手術介助に努め、患者さんが予定通り退室された時は喜びを感じます。勉強の毎日で大変なことが多いですが、先輩方にご指導を頂き、また、同期と支え合いながらステップアップしていきたいです。

思いやりと笑顔を大切に

徳島大学病院
東病棟7階
看護師 **平島里紗**

消化器・移植外科病棟の配属となり約半年、急性期から回復期にかけて日々状態が変化する患者さんを目の前にして、知識や技術不足を感じつつも、安心して手術や化学療法を受けていただけるよう日々研鑽を積んでいます。優しく尊敬できる先輩方の指導やサポートもあり、充実した日々を送っています。患者さんやご家族の思いに寄り添えるように、思いやりと笑顔を大切にして、患者さんに安心感を与え、信頼される看護師を目指していきたいと思います。



理想とする看護を
目指して

徳島県立中央病院
救命救急棟
看護師 小川 裕美



患者さんに笑顔と
安心を

徳島赤十字病院
看護師 中野 あすか

憧れの看護師と
なって

吉野川医療センター
看護師 小磯 奈央



救命救急棟で働き始め、約半年が経ちました。初めは、救命救急棟の雰囲気に圧倒され、初めての症例や処置に戸惑うこともありましたが、優しく頼りになる先輩方の指導を受け、少しづつ自信をもって仕事に取り組むことができています。

また、どうしても処置を優先してしまい「自分が理想とする看護ができるのか」と悩むこともありました。そんな私にも、患者さんが「よくしてくれてありがとう」と言ってくれることがあり、私の原動力になっています。これからも日々勉強し、理想とする看護ができるよう成長していきたいです。

私は高校生の頃、徳島赤十字病院の看護師さんに憧れて進学、就職し、現在夢が叶い、臨床研修看護師として研修を実施しています。自分の未熟さに落ち込むこともありますが、尊敬し、目標にさせて頂いている先輩看護師の方々との出会いや、心強い34名の同期の仲間に支えられ、日々学びと成長を感じています。患者さんに安心感を持ってもらえる看護ができるよう、これからも笑顔と日々勉強を忘れずに頑張っていきたいです。

憧れていた看護師となり半年が過ぎました。患者さんと関わる中で戸惑うことや判断に困ることもありますが、学ぶことがあります。それは頑張って働くという原動力となり、自信にもつながります。今は未熟で未経験なことが沢山あります。しかし、先輩達の姿を見て、また指導していただきながら、知識や接遇を身に着け、頼れる指導者となるように取り組んでいきたいと思います。そして将来、患者さんを第一に考える思いやりのある看護師を目指して頑張りたいです。

一歩ずつ一歩ずつ

田岡病院
看護師 兼市 真衣



この半年間で出来ることが増えて、より一層仕事への充実感とやりがいを感じています。

先輩方からは優しく丁寧にご指導して頂き、日々学びながら成長しています。私が所属している外来では、様々な資格を取得している先輩が多く、積極的に勉強している姿勢にいつも刺激を受けています。今は業務を覚える事で精一杯ですが、これからもたくさん勉強し自身を持って、看護を提供できるように頑張って行きたいと思います。

最善のケアを行う
ために

鳴門病院
看護師 郡 茉衣

患者さんの思いに
寄り添える看護師に

独立行政法人
国立病院機構
東徳島医療センター
看護師 阿部 真由



看護師として働き始めて数ヶ月が経ちました。4月から自分が成長しているのか不安に感じることもありますが、先輩方に指導して頂き、未熟ながらも日々学ばせて頂いています。患者さんとの関わりの中で、「ありがとうございます」など温かい言葉を頂くこともあります。私の励みになっています。勉強不足な点も多く、患者さんに最善のケアを行っているか振り返って反省する必要がありますが、患者さんによりよい看護を提供できるよう今後も精進していきたいと思います。

4月から内科・外科・整形外科等混合的一般急性期病棟に勤務しています。就職当初の頃は覚えることが多く緊張と不安の日々が続きましたが、今は一人の看護師としてできることが増え一歩ずつ前進できているかなと感じています。手術や検査を受ける患者さん、末期がん患者さん、認知症患者さんなどさまざまな状況の患者さんやご家族の思いや不安に耳を傾け、その思いに寄り添い、支えることができる看護師になりたいと思っています。



訪問看護全県展開応援事業

徳島県看護協会では、徳島県下どの地域においても訪問看護を享受できる仕組みづくりに取り組んでいます。10月13日、昨年度に引き続き西祖谷でフォーラムを開催し、寺嶋医師からACPについての講演後、地域で活躍する理学療法士や訪問看護師から実践報告がありました。住民の方からは「地域の力を高めよう」「みんなで声かけ合って支えていこう」「祖谷にも訪問看護サービスがあることを実感した」と前向きな発言がありました。



AWAナースサポートセンター事業

現在、76名の看護職がAWAナースとして登録し、13施設で活躍中です。また、今年度から救護等でもAWAナースが活躍しています。10月25日「AWAナース交流会」を開催し、AWAナースの現況や今後の活躍にむけて情報交換をしました。退職間近または退職後の皆様の登録をお待ちしています。



勤務環境改善推進事業

看護職のWLB推進フォローアップワークショップを開催します。

目的：ワーク・ライフ・バランス実現に向け、参加施設が取り組み状況を報告し、情報共有や意見交換などを行います。

日 時：平成31年2月2日(土)9:00～12:00

場 所：徳島県看護会館

医療機関管理者研修会を開催します。

日 時：平成31年2月23日(土)13:30～16:00

場 所：徳島県看護会館

テーマ：「交代制勤務看護師の勤務間インターバルと疲労回復に関する研究」からみえる看護師の働き方

講 師：労働安全衛生総合研究所 産業疫学研究グループ 部長 高橋 正也氏





ナースセンターだより

(平成 27.10.1～平成 30.10.31)

☆看護職届出制度

届出者のうち、eナースセンター登録・応募・就職状況

届出・eナースセンター登録・応募・就職	全 国		徳島県	
	総 計	割 合	総 計	割 合
届出数	83,671		701	
うちeナースセンター登録者数	34,013	40.7%	338	48.2%
うち求人施設への応募者数(紹介数)	8,647	10.3%	122	17.4%
うち就職者数	7,421	8.9%	119	17.0%

☆復職研修

未就業の看護職の方対象に、看護の現場への復帰に向けて、最新の看護に関する知識・技術を習得してもらう研修会を開催(平成30年9月～平成31年1月：講義・看護技術演習)

より身近な地域で受講しやすいよう、東部・西部・南部圏域の3会場で開催

48人受講で就業者6人(平成30年11月現在)

※未就業でなくとも看護技術に不安のある方には定着促進目的で受講してもらっています。

7人受講(平成30年11月現在)

参加して
良かった



☆就職ガイダンス

看護職の求職者や看護学生、看護の道に進みたい人が、看護職を必要とする施設で、施設の概要や業務内容、労働条件等を自分の目で耳で確認してもらうガイダンスを開催。求職者には就業意欲の向上につながっています。

求人施設も現場で求職者に施設を紹介することは、メリットがたくさんあります！

オープンホスピタル2018(本年度は県内全域で開催)

10月から12月までの3ヶ月間で実施

●参加施設《開催・開催予定順》

東部

井上病院・城西病院・中瀬病院・城南病院・天満病院・上板あおば苑・博愛記念病院・亀井病院・芳川病院・手束病院

西部

特別養護老人ホーム蓬莱荘・特別養護老人ホーム永楽荘・障がい者支援施設簪藏荘・鴨島病院・吉野川医療センター・みよしの山荘・三野田中病院・成田病院

南部

江藤病院・阿南名月苑・健祥会バイエルン・特別養護老人ホーム阿南荘・岩城クリニック・介護老人保健施設正静絹・徳島赤十字ひのみね総合療育センター・徳島ロイヤル病院・杜のホスピタル・徳島県立海部病院

参加者30人 就業者3人(平成30年11月現在)

アナフィラキシー

命に関わる症状です
早期診断早期対応を!

呼吸器 呼吸困難・喘息

心血管 ショック

消化器 下痢・腹痛・嘔吐

皮膚 莖麻疹・紅潮・搔痒感

対応

アドレナリンの筋肉注射
0.01/kg

最大量：成人0.5mg
小児0.3mg

社会経済
福祉委員会

火災や風水害等に遭われたとき

次の区分により見舞金が支給されます。

ご存知
ですか??



区分	被災の程度	見舞金の額
火災の場合	家屋全焼	30,000円以内
	家屋半焼	20,000円以内
風水害及び震災の場合	家屋全壊	30,000円以内
	家屋半壊	20,000円以内
	家屋傾斜、床上浸水	10,000円以内

※公益社団法人徳島県看護協会の規程によります。

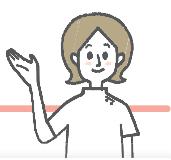


事務局からのお知らせ

① 地域密着エリアマネージャー

地域包括ケアシステム構築に寄与することを目的に、地域のニーズを熟知するエリアマネージャーから地域内の看・看連携の推進や在宅、施設等の看護の機能強化を図るなど看護職の質の向上と確保対策を推進しています。主な内容としては、地域の看・看連携の現状・ニーズ把握のアンケート調査や行政機関との連携、支部活動との連携など細かな活動を行っています。

皆様の施設にも立ち寄らせていただくこともあると思います。ご協力よろしくお願いします。



② へき地看護職員の確保定着推進事業 (看護学生のへき地地域看護体験実習)

看護学生が地域の魅力や、へき地で働くことの価値に気づき、将来の就業先として選択できることを研修目的とし、平成30年8月20日(月)～22日(水)の3日間、那賀町のご協力をいただき、3看護大学の学生15名が体験実習を行いました。

那賀町の住民の暖かさや活力が学生に伝わり、へき地で看護職として働くやりがいや役割の重要さに気づき、将来の選択肢として考えることができたようです。

次年度も引き続き、開催を予定しています。



平成31年度の継続について



◆継続のお知らせは届いていますか?

会員情報・口座情報に変更のある方は、変更届をご提出ください。
変更のない方は、提出不要です。

◆会費引き落とし期日が迫っております。指定口座の残高にお気を付けください。

◆新規入会・再加入等につきましては、書類をお送りいたしますので、徳島県看護協会までご請求ください。

編集後記

皆様明けましておめでとうございます。昨年も協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただきありがとうございました。今年もより良い内容に努めて参ります、ご協力よろしくお願ひいたします。